

## e-ビーフNEWS 北の牧場から

June 2014

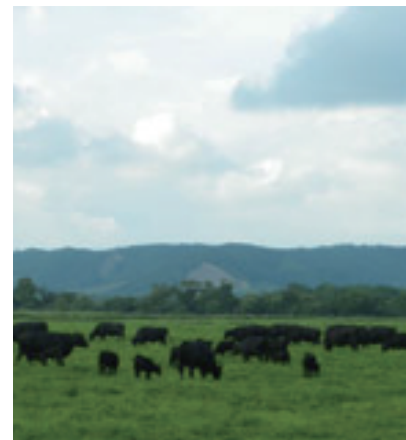
真晴れ(マップレ=十勝語)が続いています。

どしゃ降りが一回来ましたが、また晴れが続き、気温も25℃を超える夏日が多く、全道、時によっては全国有数の高温地帯になっています。まだ5月ですよ。十勝の畑は、降雪量も少なかつたせいか畑の保水量も少なく干ばつが心配されています。ところによっては、春、はじめに作付したビート(砂糖大根)や馬鈴薯の生育が悪く、播きなおした農家もいました。干ばつに強いのか主産物の麦は順調みたいですね。

ライラックが咲きました。あまい臭いが良いですよ。1週間も早く札幌のライラック祭りが開催されます。道東の東藻琴や滝上町では芝桜が満開を迎え、丘一面がショッキングピンクに覆われています。すべての花々が競うように一気に噴出し、彩り鮮やかです。

先日、襟裳岬先端に近い、植草豊かなアポイ岳を登頂してきました。その日は曇天の強風で頂上付近では、突風でした。それ中でも、チシマ桜(さくら低木樹、生育範囲北海道北部)が満開で迎えてくれ、岩肌には、こびり付く様にヒダカイワサクラソウが咲いていました。久しぶりの登山、ヒーヒー云いながら登り切りガクガクしながら無事下山、山荘の処で体を休め帰路につきました。

下界では、TPPの強風が吹き始めようとしています。吹き飛ばされぬようアポイの高山植物のように、こびり付いても地べたにしっかり根を付けていかねば、と云う風に思い知らされた1日でした。



## NEWSばか読み

- 北海道畜産公社十勝工場 2015年度完成輸出と畜処理施設  
4/24:と畜場の集中化、メリット・デメリット
- 海外貿易会社が帯広に現地法人設立  
4/25:十勝・食の重要性 海外先行か
- 政府 2013年度生産の過剰米35万t買入れ  
4/28:減反調整力働くのかな
- 豚枝肉相場 高止まり  
4/30:GW手当にPED供給不足不安説が重なる
- EU向けに神戸ビーフ初出荷 5/1:フレンチに和牛合うのかな?
- 鶏インフルエンザ熊本搬出制限を解除 5/2:獣医師&関係機関に敬服
- TPP日米協議 詰め段階 5/2:秘密主義で噂は飛び
- 食品リサイクル法の実行力強化 5/2:外食産業への圧力強まる
- 長岡市 伝統行事「牛の角突き」始まる 5/5:私も見ましたが面白い
- 日豪EPAセーフガードの有効性疑問  
5/5:採用期間・戻関税率・豪州のみ あやしい
- 中国輸出一段と失速 5/6:中国国民の目を海外資源確保へ
- 農水 BSE死亡牛検査を24 → 48ヶ月齢に緩和 5/6:油断するな
- TPP日米協議 米国豚業界が圧力 5/8:米国食糧戦略の一端
- 北海道旭川 田んぼの代かき始まる 5/11:日本の原風景 TPPで消すな

- NZ大手乳業会社(世界4位) 北海道でモデル農場建設  
5/12:来たよ来たよ
- 成城石井 ローソンor三越伊勢丹買収へ  
5/13:キャラ性あるスーパーは引く手あまた
- 規制改革委員会 農業生産法人の企業出資比率の緩和  
5/14:
- 牛丼3社 業績拡大 値上げや値下げでも収益向上 5/15:教えて
- 道内PED拡大 帯広でも 5/15:農場へので入り気を付けよう
- 今季エルニーニョの影響懸念  
5/16:世界の小麦・トウモロコシ・米に影響必須
- 環境省 農薬とトンボの環境調査開始 5/17:えっ遅すぎないかい?
- 4月生乳生産量 11か月連続で昨対減 5/17:酪農生産危機
- イオン 首都圏食品スーパー統合  
5/20:巨艦のメリット・デメリット 誰のため
- TPP閣僚会議不発 5/21:進行性不透明症候群
- 政府 産業競争力会議 輸出拡大・6次化産業・酪農強化3本柱に  
5/21:取り込もう
- バター緊急輸入7,000t 脱脂粉乳5,000t 5/22:酪農生産の落ち込み深刻
- 原発裁判 大飯原発再稼働差し止め  
5/22:原発の存在が、人間の基本的生存権に
- ミスター牛丼 安部社長 第一線を退く 5/23:危機をバネ、変化に対応
- PED原因に米国産輸入豚血漿はシロ  
5/26:?

## 東京直近NEWS (5/25ShREPORT)

## ホルス

5月の枝相場は若干の下げもほぼ横ばい。大阪南港市場が高値堅調の動きにより、相場が引っ張られている。部分肉の値上げ交渉も、各部位の引合いが特別強い状況では無く、出回り頭数の減少と輸入アイテム不足から引合い問合せはあるも、価格には反映していかない。結婚シーズンにも関わらずヒレに関して意外と静か。

上位部位は相変わらず引合い弱いが、父の日商戦での問合せでやや回復か。カタローも相変わらず弱い、用途としては汎用性が有るため、問合せはやや増。赤身部位は先月程の引合いは無いが、相変わらず不足感あり。一部では経産挽材の不足からホルスの赤身を代替えとして使用との噂もあり。全体的に荷動きはそれなりに関わらず、正肉単価は枝肉に準じた評価まで追いつかないのが実情。

6月になれば、肥育牛については相場もやや緩むのではとの声あり。年内は頭数の減少傾向が強く、一番の需要期である秋口から頭数の減少可能性が大。各社の動向と相場状況に注視が必要。

## 経産

相場は相変わらず高値安定維持。ホクレンの市場単価も毎月最高値更新を続けている状況。

生乳不足が深刻化しており、更新牛の進みも遅く廃用牛の出回りは先々も少ない。さらに市場には、本州からの家畜商も買参人として道内にはいっており、相場高騰の要因をつくっている。本州からの買参人の一部は、経産の再肥育を行い近い将来に出荷を目論んでいるとの情報もあり。各メーカー、挽材の冷凍在庫に余裕無く各社1ヶ月前後の在庫状況の様子。加工場の稼働の意図と供給義務の責務から買い手の購買欲は全く冷める様子はない。直近の枝相場は、ホルス肥育に迫る勢い。正肉もその影響から値上げ交渉を進めるも、枝肉相場との追いつけこの状態。経産牛の用途である、挽肉、加工関係の原料確保に向けて非常に厳しい状況を迎えていく見込み。

日米交渉で、進展以上合意未滿で継続協議となったTPPは、豚肉の関税と自動車の安全基準が最後の壁とされています。シンガポール閣僚会議でも米国と新興国がぶつかり、大筋合意は持ち越されています。交渉経過の評価は多様ですが、単なる通商交渉というより日米の安全保障体制との関連が強く、中国の海洋進出に対抗して米国が太平洋周辺諸国を米国基準でことを運ぼうとして、完全に政治問題化しました。北海道の農業生産者にとっては行方が気になりますが、一方で牛肉流通界では霜降り信仰が揺らぎ、割安品との価格差が縮小し、赤身人気が高まっています。環り協の活動も再稼働の時期に来ています。今年の学会・研究会情報も紙面の許す範囲で逐一紹介してゆきます。

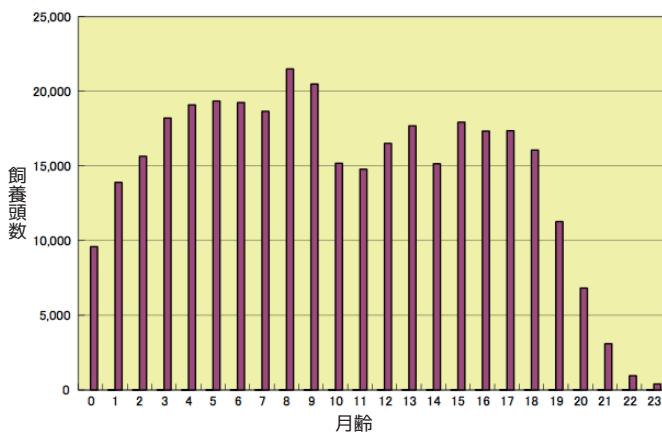
1. 2014.3.27-29 日本畜産学会第118回大会「エポカルつくば」で開催、大会長は土肥宏志氏、演題数はポスター発表も含めて約407題です。うち、39題が黒毛和種関係、26題が飼料米関係です。発表分野は栄養・飼養のほかには育種・遺伝、形態・生理、畜産物利用、管理等多様です。飼料米でも鶏・豚・乳牛と肉牛に限りませんが、和牛に関わるものが多いようです。「P27-15,16 膨潤発酵飼料を用い

た和牛肉の不飽和度向上技術の開発(家畜改良セ・山形農総研セ畜試)」では、玄米や麦を加熱圧片して濃厚飼料の15%まで代替え給与し、血中VtA濃度や筋肉のオレイン酸濃度には有意差が無いものの脂肪酸の不飽和度は増加傾向がみられ、「Ⅲ-28-15 粉付き破碎飼料米を活用した黒毛和種去勢肥育牛の24ヶ月出荷技術の検討(島根畜技セ)」では粉付き破碎米を25-20%配合の濃厚飼料で1.2倍の増給肥育を行い、肉質に有意差はなく、枝肉重量増加効果が得られており、又、「Ⅲ-28-18 飼料用玄米の給与が黒毛和種去勢牛の発育・肉質に及ぼす影響(全農中研)」では、飼料中に60%まで玄米を置き換えても血中VtA濃度の低下を防ぐ手立てをすれば肉質向上が期待されるとしています。一方、「コメDDGS給与による黒毛和種去勢牛肥育成績(農研機構畜草研、新潟県農総研畜研セ、JA全農)」ではコメDDGSの濃厚飼料への配合率は10%程度が上限とされ、脂肪組織の不飽和度が増し、融点は低下するとされています。

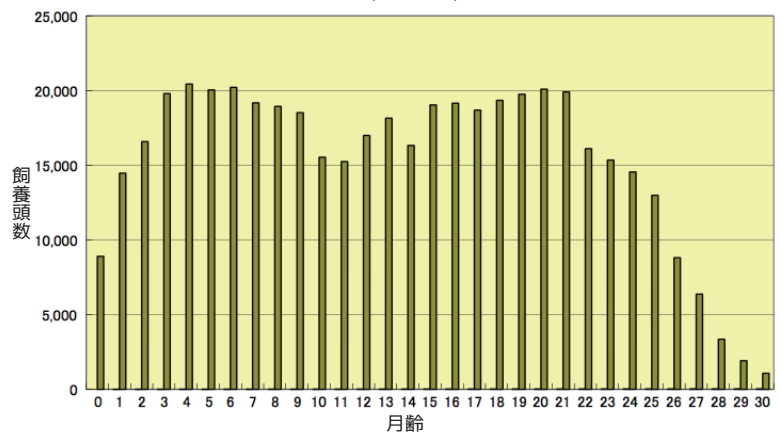
2. 2014.3.29 畜産学会と同時開催の日本産肉研究会第13回学術集会・日本食肉研究会第55回大会合同大会の内容は次回にします。

## 畜産統計資料

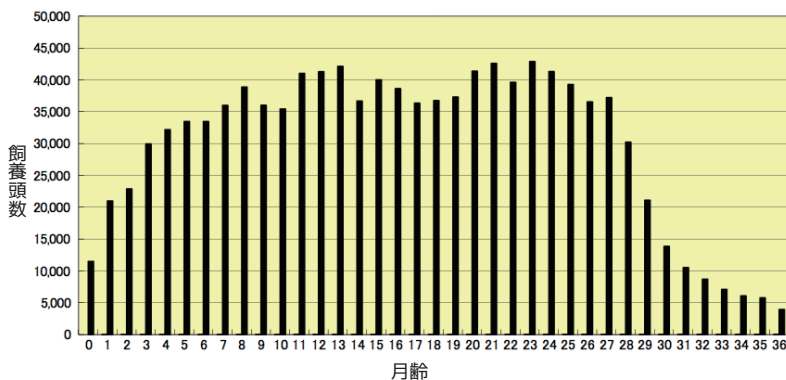
ホル肥育飼養頭数推移



交雑種(♂♀合算)飼養頭数推移



黒毛和牛飼養頭数推移



## 活動のお知らせ

- 6/7(土)10:00～ ランチョ・エルパソ(帯広市) 環境リサイクル肉牛協議会 NPO法人第7回総会・飼養技術研修会が開催されます。各自、日程を調整し、ご参加願います。
- 6/6(金) カルビーポテト(帯広工場のポテトピール) 第2回検討会を開催いたします。
- 農林水産省 平成26年度エコフィード緊急増産対策事業実施主体は不採用 残念でした。
- 一般社団法人場所文化フォーラム二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(地域における草の根活動支援事業)応募中